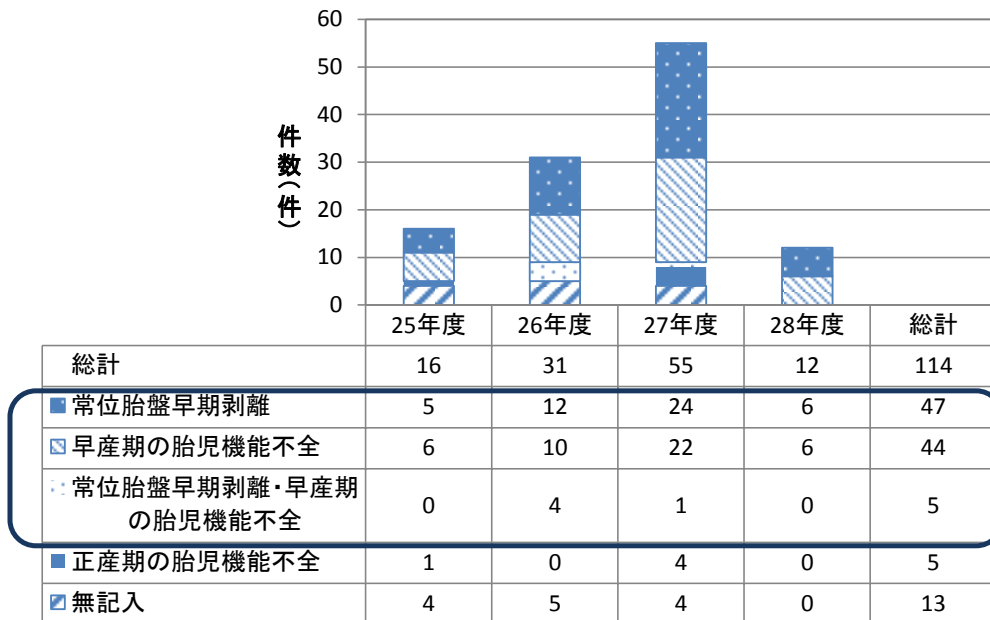


東京都胎児救急搬送システムによる搬送事例の状況

平成25年11月1日から平成28年12月31日報告受理分 114件

1 要請理由

- 常位胎盤早期剥離、早産期の胎児機能不全を要請理由としたものが、約8割であった。



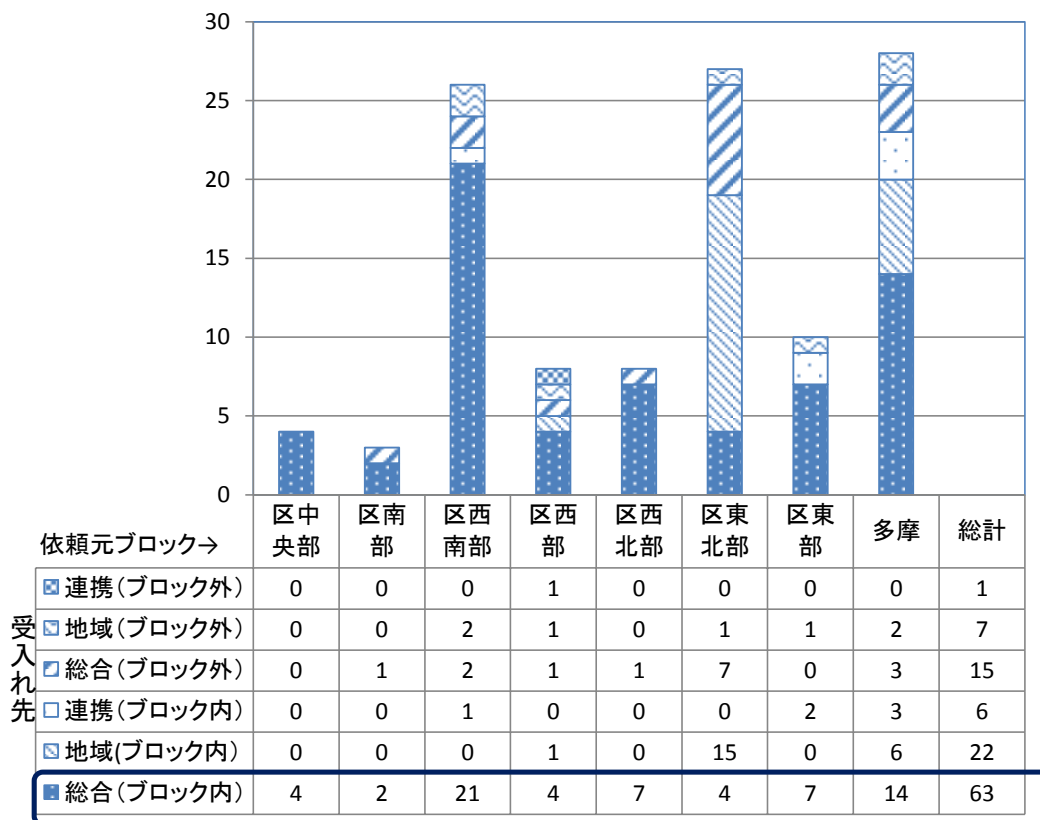
2 ブロック別件数

- 8割の事例がブロック内の医療機関で受け入れられていた。

依頼元ブロック	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	多摩	総計
依頼件数	4 100%	3 100%	26 100%	8 100%	8 100%	27 100%	10 100%	28 100%	114 100%
受入先ブロック	区中央部	4 100%	0 0%	1 4%	0 0%	0 0%	2 7%	0 0%	7 6%
	区南部	0 0%	2 67%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	1 4%	5 4%
	区西南部	0 0%	1 33%	22 85%	2 25%	0 0%	0 0%	2 7%	27 24%
	区西部	0 0%	0 0%	1 4%	5 63%	0 0%	0 0%	2 7%	8 7%
	区西北部	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	7 88%	1 4%	0 0%	8 7%
	区東北部	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 13%	19 70%	1 10%	21 18%
	区東部	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	5 19%	9 90%	14 12%
	多摩	0 0%	0 0%	0 0%	1 13%	0 0%	0 0%	0 0%	23 82%
ブロック内受入	4 100%	2 67%	22 85%	5 63%	7 88%	19 70%	9 90%	23 82%	91 80%

3 受入れ病院種別

○ 約5割の事例がブロック内の総合周産期センターで受け入れられている。



4 母の年齢

○ 30代が79例で約7割を占めている。

	人数	割合
19歳以下	1	0.9%
20～24歳	5	4.4%
25～29歳	20	17.5%
30～34歳	42	36.8%
35～39歳	37	32.5%
40～44歳	9	7.9%
45歳以上	0	0.0%
合計	114	100.0%
不明	0	

平均値 32.9 歳
中央値 33.0 歳

5 妊娠週数

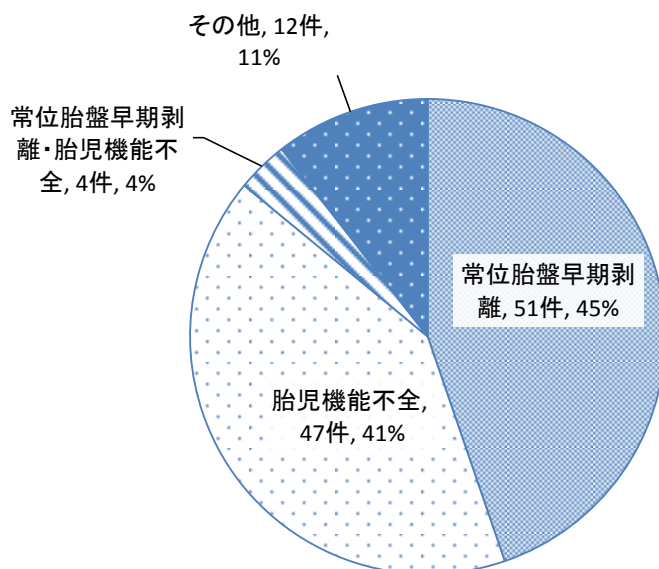
- 要請時の妊娠週数は22週から42週までに分布していた。
- 37週未満が約85%であった。

	人数	割合
37週未満	98	86.0%
うち34週未満	65	57.0%
37週以上42週未満	15	13.2%
42週以上	1	0.9%
合計	114	100.0%

平均値 31.9 週
 中央値 32.5 週

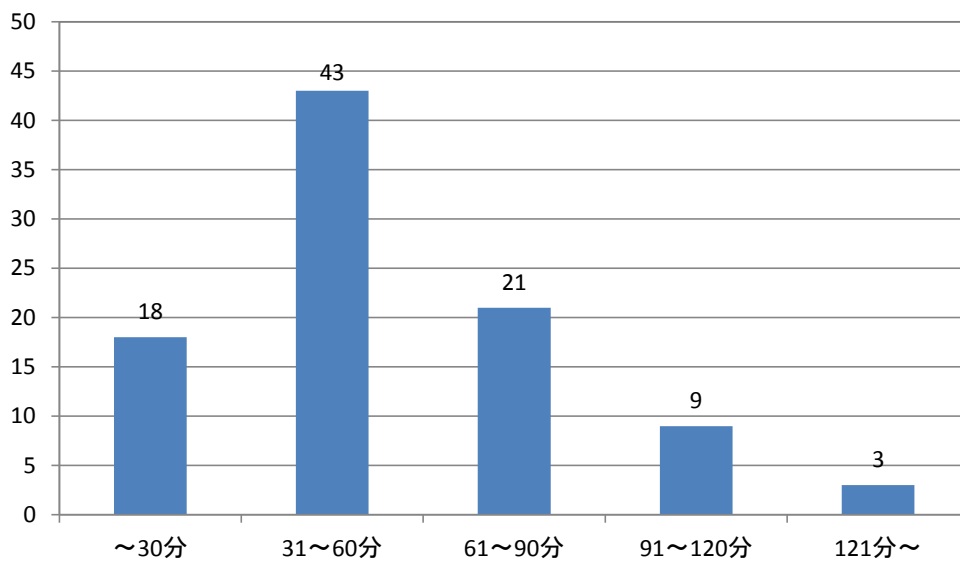
6 疾患名

- 搬送受入れ後の診断名は常位胎盤早期剥離が45%、胎児機能不全が41%であった。
- その他は12件で、子宮内胎児死亡、一過性胎児除脈、胎動減少、足位の陣発・排臨、切迫早産などであった。



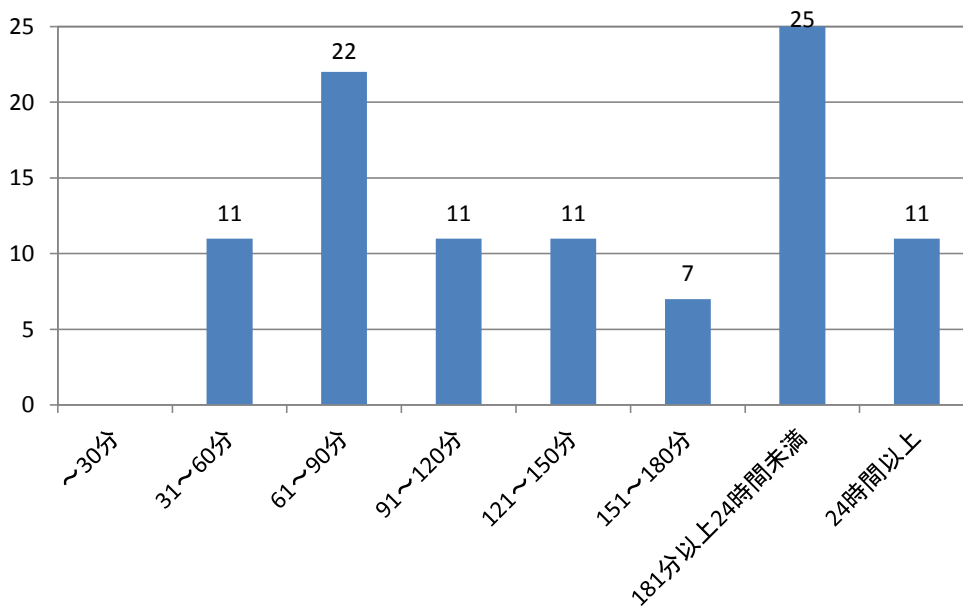
7 病着までの時間（要請から病着まで）

- 搬送要請時刻と病着時刻が分かっているのは94件であった。
- 94件の病着までの時間の平均は57分、中央値は54分であった。
- 94件の病着までの時間の最小値は17分、最大値は3時間48分であった。



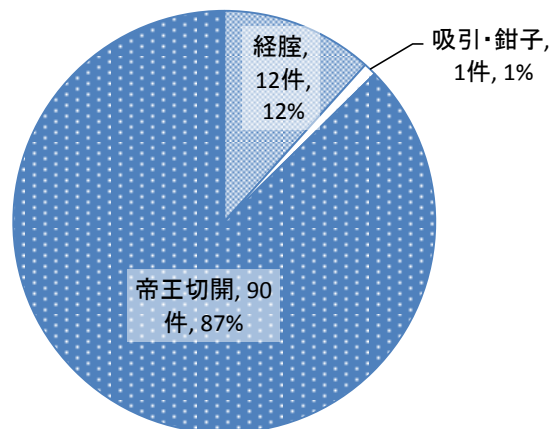
8 分娩までの時間（要請から分娩まで）

- 搬送要請時刻と分娩時刻が分かっている98件中、搬送要請から24時間以内に分娩となったのは87件であった。
- 87件の分娩までの時間の平均は2時間43分、中央値は1時間56分であった。
- 87件の分娩までの時間の最小値は40分、最大値は23時間53分であった。



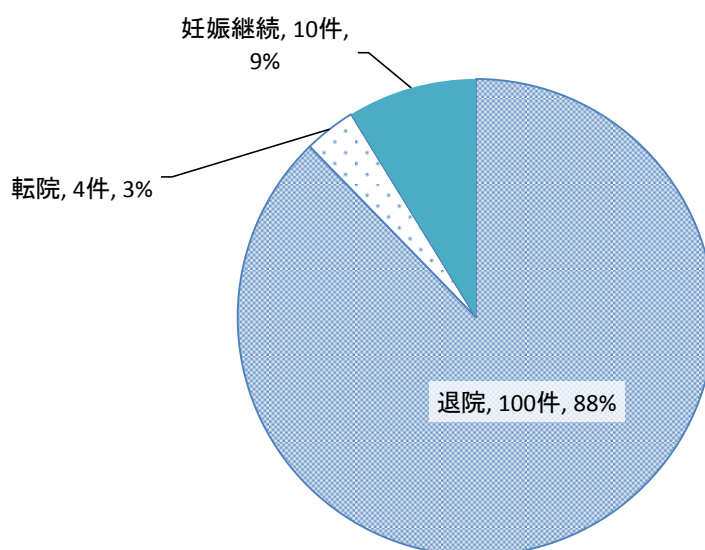
9 分娩様式

- 分娩様式は87%が帝王切開であった。
- 経膣分娩のうち、死産が5件であった。



10 母転帰

- 母の転帰は88%が退院であり、死亡したものはいなかった。



11 出生体重

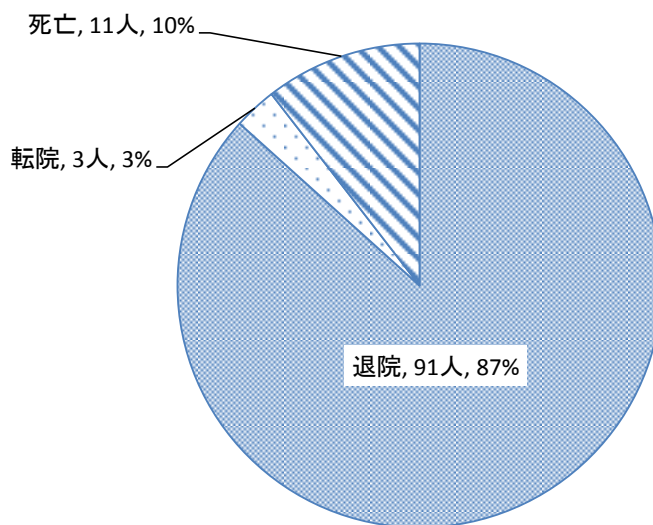
- 出生体重は458gから3598gまでに分布していた。
- 出生体重の平均は1785.8gで、中央値は1637.0gであった。

	人数	割合
1000g未満	17	16.2%
1000～1499g	27	25.7%
1500～2499g	41	39.0%
2500g以上	19	18.1%
不明	1	1.0%
合計	105	100.0%

平均値 1785.8 g
中央値 1637.0 g

12 児の転帰

- 児の転帰は退院が91人（87%）、転院が3人（3%）であった。
- 死亡した11人は、IUFDが7人、その他4人であった。



【参考】アプガースコア

アプガースコア	1分後		5分後	
	件数	割合	件数	割合
0点	9	8.7%	6	5.9%
1点	9	8.7%	3	3.0%
2点	10	9.7%	1	1.0%
3点	6	5.8%	2	2.0%
4点	10	9.7%	2	2.0%
5点	6	5.8%	6	5.9%
6点	6	5.8%	9	8.9%
7点	8	7.8%	13	12.9%
8点	29	28.2%	13	12.9%
9点	10	9.7%	40	39.6%
10点	0	0.0%	6	5.9%
	103	100%	101	100%

アプガースコア

出生直後の新生児の皮膚色、心拍数、刺激に対する反射、筋緊張、呼吸について各2点、計10点満点で評価する。7点以上が正常、4～6点が軽症新生児仮死、3点以下が重症新生児仮死と診断される。

通常、生後1分と5分で判定を行い、5分値は児の神経学的予後とより強い相関を示す。

【参考】臍帯動脈血pH

	人数	割合
pH7.00未満	11	12.6%
pH7.00以上7.15未満	10	11.5%
pH7.15以上	66	75.9%
合計	87	100.0%
不明	11	-
IUFD	7	-

平均値 7.224

中央値 7.274

臍帯動脈血pH

臍帯動脈血pHは分娩時に児が低酸素等のストレスにさらされると低くなるため、分娩時の胎児に加わるストレスの指標の1つとされている。7.0未満を重症の酸欠症とする。

IUFD

子宮内胎児死亡。intrauterine fetal death